2022年度放課後等デイサービス事業所における自己評価

事業所名　どうえん大手町児童デイサービス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		・２つの部屋を年齢や活動内容、児童の状態に合わせて使用している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3		・定員６名の子供に対して、常勤職員として、保育士、児童指導員、心理師、児童発達支援管理責任者を配置している。また、兼務職員として10名の体制を整え安全が確保されるよう対応している。	・場合によっては、個別対応が必要な子どもが多い際、職員が対応できないことがあったため、次月利用予約時の状況に応じて職員体制を整え安全に努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	2	・危険箇所へは怪我防止のために貼り紙をし、併せて職員が言葉がけをしている。	・建物の構造上完全なるバリアフリーには限界があるが、引き続き各子どもに合った「構造化・情報伝達」に努める。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			・保護者アンケートを11月に実施し、保護者のニーズを正確に把握できるようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	4	・第三者評価の受審はしていないが、法人本部による内部監査を受け、業務改善につなげている。	・第三者からの評価を受けた際には、職員間ですみやかに共有し、業務改善に関するミーティングを開催する。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容
業務改善	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・研修機会を確保し、外部研修の受講により知識や技術を学んでいる。また、資格取得につなげている。	・外部研修参加後の情報共有の方法を検討するとともに、より個別で具体的な事例に適した内部研修の実施を検討実施し、職員の資質の向上に努める。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1			・モニタリングだけではなく、進級の時期や子供の行動に対して保護者が困り感を強く持っている際には、積極的に面談を提案し、情報共有やニーズの把握ができるように検討する。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1			・標準化されたアセスメントシートは使用していないため、自閉症整理シート、CBCLといったアセスメントツールの活用を検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			・子どもの特性や発達状況、個別支援計画に合わせて、職員間で連携を取りながらプログラムを作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2		・利用日（平日、休日など）に応じて、活動内容を変更している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成して いるか	4	1		・集団活動で想定される個別目標を細分化し、個別活動として取り組んでいる。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		・記録支援ソフトで共有を図り、重要な事項については支援後に口頭で共有している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		5		・児童発達支援管理責任者が児童の様子を確認、情報を収集して参加している。	・担当者会議対象の子どもに応じて、参加職員の検討調整をおこない、よりその子どもの状況に精通した職員の参加体制を整える。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	2		・送迎時に、学校での様子や事業所での様子を共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・事例なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	1	・同じ法人内の保育所を利用していた児童には、保護者の許可を得て情報を共有している。	・関係のある事業所に対しては、保護者の同意を得た上で積極的に情報共有を図っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				・事例なし	・障害福祉サービス事業所等へ移行するケースはいまのところないが、支援内容の情報共有方法（書式、内容など）について検討する。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	1	・児童発達支援センターへ見学に行き助言を受けている。 ・発達障害者支援センターが取りまとめる研修に参加している。 ・中区こども部会にて、他児童発達支援事業所とグループワークなどを通じて研修をおこなっている。	・中区こども部会など、研修会参加後の情報等の共有方法を検討する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	・公園で地域の子どもと遊ぶ機会がある。 ・定期的に地域の公園を利用し交流を持てるようにしている。	・新型コロナウイルスの影響で他施設との交流は計画、実施できていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	1		・中区子ども部会へ参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	3	・必要に応じて保育士と子供の関わりを保護者に見てもらい、保護者が子どもとの関わり方を学ぶ機会を設けた。	・プログラムとしてはおこなえていないため、ペアレントトレーニングや保護者会などの開催を視野に入れ、保護者の要望を確認して検討する。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			・見学、契約時に児童発達支援管理責任者から説明をおこなっている。また、支援の内容に関しては送迎時に説明をおこなっている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5		・保護者同士の交流を好まない方もいるため、保護者の要望を確認しながら、開催の可否を検討する。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	2		・苦情についての対応体制は、契約時に説明をおこなっている。今後よりわかりやすい説明に努め、周知方法を検討する。苦情があった場合は、対応体制に準じ迅速に適切に対応する。	・子どもや保護者からの苦情体制や対応について、職員間での共有を徹底する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			・会報の発行はしていないが、毎日の連絡アプリで情報を発信している。 ・希望表に行事など記載している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	5			・適宜同意書をもらって対応をしている。	・個人情報が記入されている書類はファイリングし、破棄する場合はシュレッダーの使用を徹底する。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	・公園に行く際など、地域住民へ積極的に挨拶をおこなっている。	・新型コロナウイルスの影響で地域住民を招待しての行事は計画、実施できていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1			・保護者への周知が不十分であったため、周知の方法を検討し実施する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			・年間スケジュールを作成し、火災時や災害時の避難訓練や消化訓練、通報訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			・外部研修に参加した職員が研修資料を作成、周知し、情報共有をおこなっている。また、行政からの情報も職員間で共有しあっている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	4		・事例なし	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点をふまえた改善内容
非常時等の対応	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		4	1	・行事前には保護者へアレルギーの有無を確認している。 ・服薬などの与薬依頼票を確認している。	・保護者にアレルギーの有無を確認する際、医師からの指示も合わせて確認する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			・連絡ツールを使用して、ヒヤリハット報告を作成、共有し、ファイルに蓄積している。	